

東京2020 オリンピック・ パラリンピックまで

あと
1
年

Tokyo2020
1Year to Go!



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックまであと1年。観戦チケットも販売され、日本のみならず世界中で関心が高まっています。

弘前市は台湾とブラジルの**ホストタウン**として登録され、さまざまな交流を行ってきました。これまでの交流の様子を紹介します。

ホストタウンとは？

オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興などに資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る目的で認定された地方公共団体のことです。

■問い合わせ先 オリンピック・パラリンピック推進室（文化スポーツ課内、☎40-0583）

Hirosaki × Taiwan



面積 約3万6,000km²
(九州よりやや小さい)
人口 約2,359万人
(2018年12月現在)
主要都市 台北、台中、台南、高雄など
公用語 中国語、台湾語など



2017年と2018年の6・7月に台湾女子ソフトボールU-19代表チーム（チャイニーズ・タイペイ）が合宿を行いました。はるか夢球場では、同時期に合宿を行っていた実業団チームとの練習試合や、市内の高校のソフトボール部との交流のほか、齋藤春香さんの指導を受けました。また、2018年8月3日～5日には宮城県仙台市で行われたソフトボール世界選手権でのチャイニーズ・タイペイ応援バスツアーを実施し、多くの市民が選手の活躍を応援しました。

どうして台湾のホストタウンに？

①元ソフトボール女子日本代表監督を務めた齋藤春香さん（当市出身）が、現役時代から台湾のソフトボール関係者と交流を持っていたため。

②当市と台湾はりんごとアップルマンゴーの果物交流など幅広い交流を行っているため。



上記の理由から、平成28年11月16日に台湾ソフトボール協会と事前合宿等に関する協定を締結し、過去2年間の強化合宿が実現しました。

今回の合宿は **7月1日(月)～7日(日)**

豊田小学校との交流



合宿中に訪問。児童からの質問に答えたり、給食と一緒に食べたりしました。



Hirosaki × Brazil



面積 851万5,767km²
(日本の約22.5倍)
人口 約2億930万人
(2017年現在)
主要都市 ブラジリア（首都）、サンパウロ、リオデジャネイロなど
公用語 ポルトガル語



小・中学生との合同練習



フォーラム



2017年と2018年の7月に行った合宿では、弘前大学柔道部との合同練習や日本文化の体験、弘前観光などをしました。合宿を機に初めて日本に来る選手も多く、日本を楽しんでもらうことができました。また、昨年行われた小・中学生との合同練習では、実際に子どもたちの相手となり、メダリストの強さを見せました。

どうしてブラジルのホストタウンに？

①ブラジルで史上最強の柔道家として英雄視されているコンデ・コマこと前田光世が弘前市出身であるため。



②ブラジルには戦前、戦後を通じて多くの日本人が移住し、県内からの移住者も多く、長年に渡る良好な交流関係にあるため。

上記の理由から、平成29年10月9日にブラジル視覚障がい者スポーツ連盟との間で事前合宿等に関する覚書を締結し、これまでに強化合宿やさまざまなイベントが実現しています。

今回の合宿は **7月7日(日)～21日(日)**

船沢小・中学校との交流



一昨年の合宿時にはブラジル選手団がコンデ・コマの地元船沢中学校を訪問。同校と船沢小の児童・生徒が歌やねぶた囃子で歓迎し、楽しく交流しました。